

第五章 鑛產物ノ市價

一、銀

月次	月															
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十	十	平	均	月	月
大阪市場 (一貫)	大正十三年	一六四・四七	一六四・七一	一六四・四六	一六四・五三	一六四・八一	一六四・三三	一六四・一〇	一六四・三七	一六四・五五	一六四・八三	一六四・六七	一六四・九三	一六四・九三	均	月
	大正十二年	一六四・九三	一六四・九三	一六四・四六	一六四・二九	一六四・六三	一六四・八三	一六四・九六	一六四・七三	一六四・五七	一六四・八五	一六四・三六	一六四・四四	一六四・九一	均	月
倫敦市場 (一オンス)	大正十三年	三三・五四九	三三・五五五	三三・四八三	三三・〇四五	三三・八七〇	三三・七五八	三三・五〇九	三三・二二三	三三・八三三	三三・三八七	三三・七七五	三三・六三〇	三三・九六九	均	月
	大正十二年	三三・九三八	三三・八七五	三三・三三〇	三三・三四六	三三・六一一	三三・六二一	三三・四四三	三三・九五三	三三・六九八	三三・七八八	三三・七七四	三三・七七五	三三・九三九	均	月
紐育市場 (一オンス)	大正十三年	六四・四七	六四・三五九	六四・九五七	六四・一三九	六四・五三四	六四・六九〇	六四・一五九	六四・五五九	六四・三五〇	六四・八三七	六四・二九九	六四・〇九六	六四・七一	均	月
	大正十二年	六四・六八	六四・三三三	六四・五五七	六四・八五五	六四・四四三	六四・八六一	六四・〇一五	六四・七九三	六四・二〇三	六四・六四九	六四・八八八	六四・七〇五	六四・八七三	均	月

二、銅

月次		一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十 平											
次		均 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月											
大阪市場 (電氣用)		大正十三年 大正十二年											
倫敦市場 (標準)		大正十三年 大正十二年											
紐育市場 (電氣用)		大正十三年 大正十二年											

三、鐵

月次		一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十 平											
次		均 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月											
東京洋鐵 (丸鐵四分)		大正十三年 大正十二年											
東京銑鐵 (釜石鐵一噸)		大正十三年 大正十二年											
米國銑鐵 (一匹ツバ一噸)		大正十三年 大正十二年											

月次		一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十 平											
次		均 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月											
大阪市場 (電氣用)		大正十三年 大正十二年											
倫敦市場 (標準)		大正十三年 大正十二年											
紐育市場 (電氣用)		大正十三年 大正十二年											

四、鉛

月次		一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十 平											
次		均 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月											
大阪市場 (電氣用)		大正十三年 大正十二年											
倫敦市場 (標準)		大正十三年 大正十二年											
紐育市場 (電氣用)		大正十三年 大正十二年											

月次	平 十 十 十 九 八 七 六										
	均	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
大阪市場 (百斤)	大正十三年	二・八三	二・八三	二・八三	二・八三	二・八三	二・八三	二・八三	二・八三	二・八三	二・八三
	大正十二年	一五・七三	一五・七三	一五・七三	一五・七三	一五・七三	一五・七三	一五・七三	一五・七三	一五・七三	一五・七三
倫敦市場 (一英噸)	大正十三年	三・一三八	三・一三八	三・一三八	三・一三八	三・一三八	三・一三八	三・一三八	三・一三八	三・一三八	三・一三八
	大正十二年	二五・四三九	二五・四三九	二五・四三九	二五・四三九	二五・四三九	二五・四三九	二五・四三九	二五・四三九	二五・四三九	二五・四三九
紐育市場 (一封度)	大正十三年	七・〇〇〇	七・〇〇〇	七・〇〇〇	七・〇〇〇	七・〇〇〇	七・〇〇〇	七・〇〇〇	七・〇〇〇	七・〇〇〇	七・〇〇〇
	大正十二年	七・二一七	七・二一七	七・二一七	七・二一七	七・二一七	七・二一七	七・二一七	七・二一七	七・二一七	七・二一七

五、錫

月次	平 十 十 十 九 八 七 六										
	均	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
大阪市場 (百斤)	大正十三年	一五・七三	一五・七三	一五・七三	一五・七三	一五・七三	一五・七三	一五・七三	一五・七三	一五・七三	一五・七三
	大正十二年	一四・七五	一四・七五	一四・七五	一四・七五	一四・七五	一四・七五	一四・七五	一四・七五	一四・七五	一四・七五
倫敦市場 (一英噸)	大正十三年	二四・七九〇	二四・七九〇	二四・七九〇	二四・七九〇	二四・七九〇	二四・七九〇	二四・七九〇	二四・七九〇	二四・七九〇	二四・七九〇
	大正十二年	一八・八五三	一八・八五三	一八・八五三	一八・八五三	一八・八五三	一八・八五三	一八・八五三	一八・八五三	一八・八五三	一八・八五三
紐育市場 (一封度)	大正十三年	四八・三五〇	四八・三五〇	四八・三五〇	四八・三五〇	四八・三五〇	四八・三五〇	四八・三五〇	四八・三五〇	四八・三五〇	四八・三五〇
	大正十二年	三七・九八六	三七・九八六	三七・九八六	三七・九八六	三七・九八六	三七・九八六	三七・九八六	三七・九八六	三七・九八六	三七・九八六

月次	平 十 十 十			
	均	月	月	月
大阪市場 (百斤)	大正十三年	一七・八四	一七・八四	一七・八四
	大正十二年	一七・八四	一七・八四	一七・八四
倫敦市場 (一英噸)	大正十三年	二四・八・五四三	二四・八・五四三	二四・八・五四三
	大正十二年	二〇・三・九七	二〇・三・九七	二〇・三・九七
セントルイス市場 (一封度)	大正十三年	五・〇・三八	五・〇・三八	五・〇・三八
	大正十二年	四・一・三三	四・一・三三	四・一・三三

六、亞鉛

月次	平 十 十 十 九 八 七 六 五 四 三 二 一										
	均	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
大阪市場 (百斤)	大正十三年	二・五三	二・五三	二・五三	二・五三	二・五三	二・五三	二・五三	二・五三	二・五三	二・五三
	大正十二年	二・四・六	二・四・六	二・四・六	二・四・六	二・四・六	二・四・六	二・四・六	二・四・六	二・四・六	二・四・六
倫敦市場 (一英噸)	大正十三年	三・七六二	三・七六二	三・七六二	三・七六二	三・七六二	三・七六二	三・七六二	三・七六二	三・七六二	三・七六二
	大正十二年	三・五・七三	三・五・七三	三・五・七三	三・五・七三	三・五・七三	三・五・七三	三・五・七三	三・五・七三	三・五・七三	三・五・七三
セントルイス市場 (一封度)	大正十三年	六・四・三六	六・四・三六	六・四・三六	六・四・三六	六・四・三六	六・四・三六	六・四・三六	六・四・三六	六・四・三六	六・四・三六
	大正十二年	六・八・一五	六・八・一五	六・八・一五	六・八・一五	六・八・一五	六・八・一五	六・八・一五	六・八・一五	六・八・一五	六・八・一五

月次	九種炭	二種炭	(門司)三種炭	同一種炭(東京)	磐城炭(入田川)	夕張炭(小樽)
一月	一六・三〇 _四	一四・〇〇 _四	一二・五〇 _四	二八・二一 _四	一九・一七 _四	一四・〇〇 _四
二月	一六・三〇	一四・〇〇	一二・三五	二八・〇五	一九・一七	一四・〇〇
三月	一六・三〇	一四・〇〇	一二・三五	二八・二三	一九・一七	一四・〇〇
四月	一六・三〇	一四・〇〇	一二・三〇	二七・八九	一九・一七	一三・五〇
五月	一六・〇〇	一四・〇〇	一二・三八〇	二七・一六	一九・一七	一三・五〇
六月	一五・八〇	一四・三七〇	一二・三〇	二六・四三	一八・三三	一三・〇〇
七月	一五・八〇	一四・三七〇	一二・三〇	二六・〇三	一七・五〇	一三・〇〇
八月	一五・八〇	一四・一〇	一二・三八〇	二六・〇三	一七・五〇	一三・〇〇
九月	一五・八〇	一四・〇〇	一二・五〇	二五・八七	一六・六七	一三・〇〇
十月	一六・〇〇	一四・〇〇	一二・五〇	二六・三五	一六・六七	一三・〇〇
十一月	一六・〇〇	一四・〇〇	一二・五〇	二七・〇〇	一六・六七	一三・〇〇
十二月	一六・〇〇	一四・〇〇	一二・五〇	二七・〇八	一六・六七	一三・〇〇
平均	一六・〇〇	一四・三三	一二・七一	二七・〇三	一七・九九	一三・三〇

八石油

月次	東山油田 (一石)	大正十三年	大正十二年	新津油田 (一石)	大正十三年	大正十二年
一 月	一三・三五 ^丙	一二・五〇 ^丙	一二・〇〇 ^丙	二一・六五 ^丙	二一・〇〇 ^丙	二一・〇〇 ^丙
月次	東山油田 (一石)	大正十三年	大正十二年	新津油田 (一石)	大正十三年	大正十二年
八 月	一四・五〇 ^丙	一三・〇〇 ^丙	一四・〇〇 ^丙	二一・五〇 ^丙	二一・五〇 ^丙	二一・五〇 ^丙

(原 油)

二	三	四	五	六	七
月	月	月	月	月	月
一三・三五	一三・五〇	一四・〇〇	一五・〇〇	一五・二〇	一五・二〇
一二・五〇	一二・〇〇	一三・〇〇	一三・〇〇	一三・〇〇	一二・〇〇
一二・七五	一二・七五	一二・七五	一三・三〇	一四・〇〇	一四・〇〇
一二・〇〇	一二・七〇	一三・〇〇	一三・七〇	一三・七〇	一三・七〇
九	十	十	十	平	
月	月	月	月	均	
一四・五〇	一五・〇〇	一五・〇〇	一五・〇〇	一四・四七	
一二・〇〇	一二・〇〇	一二・五〇	一三・二五	一二・四八	
一二・三〇	一二・三〇	一二・三〇	一二・三〇	一二・〇五	
一二・七〇	一二・七五	一二・七五	一二・六九	一二・三五	

九、石
油

[illegible]

十、硫 黃 (國館市場一英噸)

月次	大正十三年												月次	大正十二年											
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二		一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
次	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇
月	八	九	十	十	十	十	平	二	一	均	均	均	月	八	九	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十
次	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇	五五・〇〇

第六章 鑛山事業ノ概況

一般經濟界ハ未タ振ハス勞銀並ニ物價ハ本年ニ入りテモ低落ヲ見ルニ至ラス且ツ長期ニ亘ル創痍猶ホ癒ヘサルモノアルヲ以テ鑛業界ハ依然窮境ヲ脱スルコトヲ得サルモ獨逸賠償問題ノ解決ニ依リ經濟界ハ幾分復活ノ曙光ヲ認メタルト鑛產物ノ市價多少ノ昂騰ヲ示シタルモノアルトニ依リ概シテ鑛況擡頭ノ機運ヲ醸成スルニ至レリ

(一) 各種鑛業ノ概況

●金銀鑛業 本年十一月一日大藏省ニ於テ金拂下價格ノ標準變更セラレタルアリ又米國銀生産組合ノ創立、墨西哥動亂等ノ爲銀市價前年ニ比シ二割ノ昂騰ヲ見タルハ共ニ産金銀業者ニ活氣ヲ與ヘ斯業ノ進展ヲ豫期セシムルモノアリタルモ其影響未タ具體的ニ表ハル、ニ至ラスシテ越年セリ即チ北海道鴻ノ舞鑛山ニ於テ十一月末從來ニ倍スル製鍊場改築工事ヲ竣成シ蘆鑛山モ亦新ニ青化製鍊場ヲ設ケタルカ如キ岩手縣大萱生鑛山、福島縣高玉鑛山、静岡縣土肥鑛山、兵庫縣沖ノ浦鑛山、同縣竹野鑛山ノ事業ノ進展ヲ計レル宮城縣高田鑛山ノ製鍊場ヲ復舊セル秋田縣小坂鑛山及尾去澤鑛山、鹿兒島縣三井串木野鑛山、同縣山ケ野鑛山、大分縣鮎生鑛山ノ増産ヲ行ヘル福島縣半田鑛山ノ製鍊ヲ再開セル茨城縣日立鑛山、栃木縣足尾鑛山ノ買鑛ヲ増加セル兵庫縣阪阪鑛山ノ事業ヲ再開セル等ハ何レモ將來ニ於ケル發展ノ傾向ヲトスルニ足ルヘク唯此間佐渡鑛山ニ於ケル製鍊所ノ火災静岡縣高根鑛山ノ休業同縣河津鑛山、同縣細地鑛山、三重縣楊枝川鑛山ニ於ケル出鑛量ノ減少、鹿兒島縣芹ケ野鑛山、同縣赤石鑛山ニ於ケル產出鑛石品位ノ低下、大分縣佐賀關鑛山ニ於ケル買收鑛石品位ノ低下ハ共ニ本年ノ金銀產額ニ尠カラサル影響ヲ與ヘタリ

●銅鑛業 銅市價ハ前年一時暴騰シ其後軟弱ニ陥リタルモ本年ニ入りテ米銅ノ騰貴對外爲替相場ノ變調、在庫品ノ缺乏等